

2019年1月20日

No. 6 1 3

4月、7月、9月、11月、1月、3月
20日発行



発行人
〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地
公益社団法人 福島県畜産振興協会
電話 (024) 573-0515
FAX (024) 573-0565
URL <http://fukushimalin.gr.jp/index.htm>
anteil@bz03.plala.or.jp
kanri-eiseika@bz03.plala.or.jp
keikai@bz03.plala.or.jp
編集者 伊藤 純一
印刷所 (株) 第一印刷



新年のごあいさつ

公益社団法人福島県畜産振興協会
福島県畜産関係団体連絡協議会
会長 宗 像 実



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は業務推進について、格段のご理解とご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、本県の農業・農村では高齢化や担い手不足等が進み、農業生産基盤は縮小傾向にあり、中山間地では深刻な過疎化が進み、また不耕作農地の拡大等により農業が持つ多面的機能も失われつつあります。

とりわけ東日本大震災からの復興・再生の途上であり、脆弱化した生産基盤等の再構築を図るとともに本県の将来を見据え、夢と希望を抱いて安心して経営の継続できる環境を整備し、意欲ある優れた担い手を一人でも多く確保育成していくことが喫緊の課題であります。

また、県及び生産者団体による畜産物の検査等で安全性を確保しているにもかかわらず、消費者等にその取組みが十分に伝わらず、適正な価格で流通されない状況が今もなお続いています。今後とも、消費者のみならず流通・小売り業者等に対し、周知を図るなど風評払拭に努めなければなりません。

このような中、昨年12月30日にTPP11が発効され、EUとのEPAについては、2月に発効する見通しとなっています。これら自由貿易体制による農畜産物の輸入拡大は、様々な面で大きな影響が出ることが懸念されます。

国内畜産業を守り、発展させるため、国に対して万全の対策を講じるよう関係機関・団体と一体となり、引き続き強く求めていくとともに、協会としましては、新たに制度化された肉用牛肥育経営安定交付金制度等の実施による経営安定対策、家畜衛生対策、価格安定対策及び家畜改良事業等が円滑に実施できるよう尽力して参ります。

本年も皆様のご期待に応えられるよう役職員一丸となって努力する所存でありますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、本県畜産の益々の発展と皆様方のご活躍とご健勝をお祈り申し上げ新年のごあいさつといたします。





新年の御挨拶

福島県農林水産部長
佐 竹 浩

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃より本県の畜産振興に特段の御理解と御協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。

東日本大震災の発生から8度目となる新年を迎えました。この間、本県では、避難指示解除に伴う営農再開へ向けた動きが進展しており、畜産業においては、復興牧場の順調な稼働などに加え、避難指示解除地域での原乳の出荷や肉用牛・養鶏の飼養の再開など、復興に向け着実な歩みを進めております。

特に、本県の豊かな風土と生産者の情熱が作り上げた自慢の逸品である福島牛は、全国レベルの枝肉共励会においても毎年上位入賞を果たすなど、その品質には多くの方々から高い評価を頂いております。また、昨年3月開始の大手量販店における福島牛の定番販売では、売れ行きが大変好調なことから、取扱い店舗数が当初の6店舗から8店舗に増え、大手百貨店では、オンラインストアで福島牛の取り扱いを開始するなど、今後、取扱いの拡大が期待されるところです。さらに、昨年9月、本県の基幹種雄牛として「勝忠安福」が選定され、その産子は、一昨年、宮城県で開催された第11回全国和牛能力共進会で東日本1位の好成績を残しており、生産現場での活用が福島牛の更なる評価の向上につながるものと確信しております。

このように光の部分がある一方で、東日本大震災が本県畜産の生産基盤に与えた影響は大きく、担い手不足に加え原子力災害の影響から家畜の飼養戸数や生産量は減少が続いています。また、世界的な情勢を見ますと、昨年12月30日にはTPP11協定が発効され、本年2月1日には日EU・EPAが発効されるほか、日米物品貿易協定（TAG）の交渉開始が合意されるなど、今後、牛肉や豚肉を始めチーズなどの乳製品の輸入増加が見込まれ、畜産農家や生産団体等の間では畜産経営に与える影響について不安と懸念が根強くあります。さらに、本県の農畜産物は、依然として震災前の価格水準まで回復しておらず、特に肉用牛の食肉市場における枝肉価格は、全国平均よりも低い状況が続いています。

これらの諸課題に対応するため、県としましては、原子力災害からの復興・創生をさらに加速し、進化させるため、避難指示解除区域においては、福島県原子力被災12市町村農業者支援事業などを活用し、畜産が盛んであった阿武隈山系を中心とした畜産の再開をしっかりと支援していく

ほか、県内全域においては、東日本大震災農業生産対策交付金などを活用し生産基盤の再生を進めてまいります。

国では、「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づき、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業）などによる体質強化、そして、肉用牛肥育経営安定特別対策事業（牛マルキン）や養豚経営安定対策事業（豚マルキン）の法制化と充実による経営の安定を図るなどとしており、県といたしましても、これらの事業を活用しながら、国際的な経済連携協定にも十分対応できるよう生産基盤の維持・強化にしっかり取り組みます。

風評対策においては、牛の全頭検査など畜産物のモニタリングにより引き続き安全・安心を確保するとともに、昨年4月に県内で初めて認証されました農場HACCPや畜産GAP認証取得を推進し、食肉販売店や消費者に信頼される産地づくりを推進するほか、より多くの方に福島牛を始めとした県産畜産物を召し上がっていただけるよう、高い品質とおいしさを積極的にアピールしながら、関係者が一丸となって風評の払拭と県内外における販路の拡大をさらに図ってまいります。

なお、昨年9月に国内で26年ぶりに発生しました豚コレラや主に冬季に発生する鳥インフルエンザなどの特定家畜伝染病は、発生した場合に畜産に与える被害が甚大であり、発生防止対策や万一発生した場合の初動防疫は大変重要です。県といたしましては、昨年2月に石川郡玉川村に開所しました「福島県中央家畜保健衛生所」を本県の家畜防疫の中心として位置づけ、鳥インフルエンザを始めとした特定家畜伝染病の常時監視と発生時の迅速な初動防疫を担う全県的な危機管理拠点として、家畜伝染病等の発生防止に向け家畜衛生の一層の向上を図ってまいります。

今後とも皆様安心して畜産経営を継続できるように様々な施策を講じてまいりますので、皆様には事業を活用しながら、自らの畜産の生産基盤の強化と経営の発展を進めていただきますようお願いいたします。また、関係機関・団体の皆様方には、各種施策の推進や実施について、引き続き御理解と御協力をお願いします。

結びに、本県畜産業の振興に向け、一層の御尽力をお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとってすばらしい年になりますよう心からお祈り申し上げ、年頭の御挨拶といたします。

子実用トウモロコシ現地実証試験の紹介

福島県農業総合センター畜産研究所

福島県では被災地における営農再開を促進するため、浜通り地方における大規模水田の新たな輪作体系技術の構築や、除染により土壌の物理性等が低下した農地における地力回復等の技術を開発するため、「水稻ー大豆ー子実用トウモロコシ」の水田輪作体系の確立を目指し現地実証試験を行っています。

畜産研究所では、水田転作ほ場と子実収穫に適したトウモロコシ品種の選定と、定置型ロールベアラを活用したトウモロコシ子実のサイレージ調製技術の確立に向けた試験を平成30年度より開始しました。

今回はこれらの試験内容について紹介します。

(1) 品種の選定

輪作体系に適した子実用トウモロコシ品種を選定するため、水稻・大豆と収穫時期が重複せず、稲刈り前に収穫可能な極早生品種3品種（SL12029（RM90）、タラニス（RM95）、SL0746（RM95））を選定し、4月23日、高速高精度汎用播種機（MDS）を用いて播種しました。その後の生育は倒伏や虫害も余りなく概ね順調に進みましたが、一部湿害と思われる生育ムラが見られました。

なお、今回の試験では黄熟期到達が8月10日、完熟期到達は8月27日でした。

(2) サイレージ調製

完熟期のトウモロコシ子実を専用アタッチメントの付いた汎用型コンバインで収穫し、子実の入ったフレコンバッグを農家の作業場まで運搬し調製作業を行いました。



汎用型コンバインによる子実用トウモロコシの収穫



トウモロコシ子実を破碎し、定置型ロールベアラのホッパーへ投入

トウモロコシ子実を破碎機（Peruzzo社製U500T）で粉体状に破碎し、定置型ロールベアラ（Orkel社製MC1000）へ投入しました。今回使用した破碎子実の水分は約25%～28%でしたが、問題なく梱包・密封することができ、ロールベアララップサイレージとして調製することができました。なお、ロールの重量は1個当たり約600kgとなりました。

(3) 発酵品質

調製後1か月目と3か月目までの発酵品質は、pH 4、V-SCORE 99点と良好な発酵をしています。また、一般成分も日本標準飼料成分表と比較して概ね同等の値でした。

(4) 保管の際の鳥獣害対策

熊等の対策として外周を電気牧柵（2段張）で囲い、ネズミ等の被害を避けるためロールの下に金網を敷き、ロール間は約30cm空けて並べています。また、カラス等の鳥害を避けるため、上部にはテグス等を張りました。

(5) 今後の試験計画

来年度の品種選定試験については、ほ場の排水対策を行い各品種の能力を十分に評価できるよう試験を行うとともに、サイレージ調製については梱包ロスを少なく精度の向上を目指して試験を継続します。

また、次年度からは乳牛への給与試験を行い、生乳生産に影響が無いことを検証します。

今後とも県内の耕種農家と畜産農家の耕畜連携を促進し、経営安定の一助となる成果が出せるよう取り組みますので、ご期待ください。



収穫されたトウモロコシ子実



梱包・密封されたトウモロコシ子実

第60回全国牛削蹄競技大会で 本県の武藤稔貴さんが3位入賞

福島県装蹄師会

第60回全国牛削蹄競技大会は、11月8日に茨城県水戸市で開催され、全国各地の予選を勝ち抜いた24名の選手が参加しました。東北地区からは6名の選手が出場し、牛削蹄判断競技と牛削蹄競技の2種目によって日ごろの技を競い合い、本県から出場した武藤稔貴さん（安達支部）

が前々回の優勝に続き、総合順位3位に入賞しました。

武藤さんは受賞後、「3位入賞は嬉しいが優勝を狙っていたので、正直悔しかった。来年度の大会については、チャンスがあればチャレンジしたい。」と話していました。



表彰を受ける武藤稔貴さん



受賞者（左から2人目が武藤さん）

●品質と信頼の●



くみあい配合飼料



JA全農北日本くみあい飼料株式会社

本 社

〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野一丁目12-1 いちご仙台イーストビル
TEL (022) 792-8040(代)

南東北支店 福島営業所

〒963-0725 郡山市田村町金屋字川久保23 JA全農福島郡山ビル2F
TEL (024) 941-0825
FAX (024) 941-0827

肉用子牛のための「強化」哺育専用代用乳」ができました!!



“強化”哺育とは…

- ・子牛が本来もっている発育能力をフルに発揮させる哺乳方法です。
- ・従来の粉ミルクとは全く違った栄養バランスの粉ミルクを、通常よりも多く給与することにより、フレームのしっかりした牛に育ちます。また、固形飼料の摂取量低下を防ぎ、より食い込める素牛への成長を助けます。

福島県酪農業協同組合 〒969-1103 本宮市仁井田字一里壇17 TEL：0243-33-1101(代)



きれいな空気、きれいな水、そして新しい鉱塩。

動物用医薬品 ビタミンE・セレン配合ミネラル固型塩

鉱塩® E250 TZ

動物 未来 みつめる ひろがる



ZENOAQ

動物用医薬品 製造販売

日本全薬工業株式会社

福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

URL : www.zenaoaq.jp

東日本ディリーショーに出品 第1部・第2部にてチャンピオン獲得

福島県酪農業協同組合

10月27日(土)に全農岩手県本部中央家畜市場(岩手県雫石町)で、アルタジャパン株式会社より細野淳氏を審査員に迎え、2018東日本ディリーショーが開催されました。

ホルスタイン13部、ジャージー4部の計17部に156頭が出品され、福島県からは福島県ホルスタイン改良同志会を中心に、10頭出品されました。

本県出品牛のうち、鏡石町の目黒啓太さんの出品牛が第2部の1等1席、磐梯町の足利秀忠さんの出品牛が第1部の1等1席及びリザーブジュニアチャンピオンを獲得という好成績を収めました。また、出品者である目黒啓太さんは、ベストショウマン賞を獲得しました。



第2部1等1席 ベストショウマン賞
エムブラツク クラツシュ プレンダ
出品者：目黒 啓太



リザーブジュニアチャンピオン
バンダイデール ドアマン マーテル
出品者：足利 秀忠

◎福島県出品1等入賞牛

部 別	名 号	出品者
第1部(12ヵ月未満 未経産クラス)	1等1席 バンダイデール ドアマン マーテル	足利 秀忠
第2部(10ヵ月以上13ヵ月未満 未経産クラス)	1等1席 エムブラツク クラツシュ プレンダ	目黒 啓太
第11部(42ヵ月以上48ヵ月未満 経産3歳シニアクラス)	1等3席 フリーファーム トワイライト ハーゲン	成田 昌弘
第12部(60ヵ月以上 経産4歳クラス)	1等2席 レッドピーン メロディー アレキサンダー カブ	小豆畑正一

福島の大自然とみつばちからの恵み



天然はちみつをどうぞ

福島県養蜂協会

T960-8502

福島市南中央三丁目36番地(福島県畜産振興協会内)

TEL 024-573-0515 FAX 024-573-0565



美容と健康に
おいしい
はちみつはいかが！

御用命は

- ◎牛用・豚用・鶏用
各種ワクチン類
- ◎家畜防疫資材
- ◎家畜用医薬品
- ◎家畜用衛生資材

福島県動物薬品器材協会
事務局 株式会社アスコ内
☎(024)3363124 8

小田島商事株式会社
福島市鎌田字御町十一の四
☎(024)553166 7 8

日本全薬工業株式会社
福島営業所
郡山市安積町笹川字平の上一
☎(024)945130 6

株式会社アグロジャパン
福島営業部
福島市南中央三丁目五十一
☎(024)526730 3

日新殖産株式会社
伊達市梁川町字東塩野川二五
☎(024)577312 2

株式会社アスコ
本宮市本宮字下台18-12
☎(024)3363124 8

『動物用医薬品は、
正しく使用し、
休業期間を
厳守しましょう』



子牛初セリにおいてイベントを開催

うつくしま福島畜産mother'sクラブ e-E N

平成31年1月15日、16日に本宮市県家畜市場で全農福島県本部による和牛子牛市場（初セリ）の開催に合わせ、「うつくしま福島畜産^{マザーズ}mother'sクラブ^{イーエン}e-EN」主催、全農福島県本部並びに（公社）福島県畜産振興協会の協賛により、牛鍋イベントを開催しました。

このイベントは、県内の畜産に携わる女性の仲間たちが、東日本大震災後、福島県の子牛を信頼して購入してくれる購買者や関係者に感謝の気持ちと、同じ生産者への励ましの思いも込めて少しでも温かいものをと、黒毛和牛を使った牛鍋を初セリで振舞っています。

震災後7度目となり、恒例となってきた牛鍋イベントを、毎回楽しみにしている生産者も多く、準備した1,000食（2日間で2,000食）の牛鍋がお昼頃には完食という盛況振り

でした。

積雪の心配は無かったものの、水道が凍結し、時折冷たい風が吹き付ける中での振舞いに、寒さで冷えた体を、マザーズクラブの気持ちが込められた牛鍋のおいしさで、温めてもらったなどの感謝の言葉が多く寄せられました。

また、材料として提供いただいた「福島牛」のおいしさを改めて噛み締めながら自信とやる気への気持ちを改めて感じたことと思われます。

福島県の畜産復興に向けて、一丸となって取組んでまいりますので、今後とも福島県の畜産を応援して下さるようお願いいたします。

また、イベント開催にあたり数々のご協力を賜りましたこと、この場をお借りして感謝申し上げます。



牛鍋イベントに協力頂いた皆さん



牛鍋で温まる生産者



熱々の牛鍋



うつくしま福島畜産^{マザーズ}mother'sクラブ^{イーエン}e-ENの皆さんと「みんなでニコニコ特別料理講習会」を開催します！

マザーズクラブとは、福島県内の女性畜産生産者を中心に、飼養畜種の垣根を越えて集い、女性の立場からみた経営における疑問や不安等、同業者であるからこそわかりあえることを気軽に話し合える場、また消費者との交流や食育などを通して畜産への理解を深める場として活動しています。

今回は畜産物の消費拡大、参加者相互の交流を目的に、畜産物を使って簡単に作れる主役料理で自分も家族もニコニコ料理講習会を右記のとおり開催いたします。

一般の方もどなたでも参加できます。難しいと思っていた料理を簡単に作ってしまう特別講習会です。気軽に楽しい集まりですので、奮ってご参加ください。

料理講習会

～講師 マザーズクラブ 会長、副会長など～

Menu 大人気！ 焼き肉のタレ
手作り！ モッツアレラチーズ
簡単ローストビーフ
ビーフシチューなど （予定です）



- 開催日時 平成31年2月20日（水）
10時より14時まで（一般の方）
- 開催場所
「福島県農業総合センター 農業短期大学校
農産加工技術センター」
住所 西白河郡矢吹町一本木446
電話 0248-42-4111
- 準備物
エプロン、三角巾、焼肉のタレを入れる容器（醤油・酒の空容器または、洗浄し完全に乾燥させたペットボトル容器）1～1.8ℓのもの
各自お持ち帰り用の保冷容器・保冷剤など（お持ち帰りについては自己責任でお願いします。）
- 参加経費
一人 1,000円
- 申込先
公益社団法人福島県畜産振興協会（担当：野田）
TEL 024-573-0514 FAX 024-573-0565
- 申込締切
平成31年2月15日（金）午前中までご連絡下さい。

平成31年度 福島県家畜市場総合カレンダー

平成31年 4	日曜日	1月	2火	3水	4木	5金	6土	7日	8月	9火	10水	11木	12金	13土	14日	15月	16火	17水	18木	19金	20土	21日	22月	23火	24水	25木	26金	27土	28日	29月	30火	
	団体名									和子牛	和子牛	成牛	乳子牛						乳子牛													
	上場																															
5	日曜日	1水	2木	3金	4土	5日	6月	7火	8水	9木	10金	11土	12日	13月	14火	15水	16木	17金	18土	19日	20月	21火	22水	23木	24金	25土	26日	27月	28火	29水	30木	31金
	団体名														酪協	全農	全農	全農	全農			乳子牛										
	上場														乳子牛	和子牛	和子牛	成牛				乳子牛										
6	日曜日	1土	2日	3月	4火	5水	6木	7金	8土	9日	10月	11火	12水	13木	14金	15土	16日	17月	18火	19水	20木	21金	22土	23日	24月	25火	26水	27木	28金	29土	30日	
	団体名					全農	全農	全農							酪協							全農										
	上場					和子牛	和子牛	成牛							乳子牛							乳子牛										
7	日曜日	1月	2火	3水	4木	5金	6土	7日	8月	9火	10水	11木	12金	13土	14日	15月	16火	17水	18木	19金	20土	21日	22月	23火	24水	25木	26金	27土	28日	29月	30火	31水
	団体名			全農	全農	全農							酪協						全農													
	上場			和子牛	和子牛	成牛							乳子牛						乳子牛													
8	日曜日	1木	2金	3土	4日	5月	6火	7水	8木	9金	10土	11日	12月	13火	14水	15木	16金	17土	18日	19月	20火	21水	22木	23金	24土	25日	26月	27火	28水	29木	30金	31土
	団体名						全農	全農	全農	酪協												全農										
	上場						和子牛	和子牛	成牛	乳子牛												乳子牛										
9	日曜日	1日	2月	3火	4水	5木	6金	7土	8日	9月	10火	11水	12木	13金	14土	15日	16月	17火	18水	19木	20金	21土	22日	23月	24火	25水	26木	27金	28土	29日	30月	
	団体名				全農	全農	全農							酪協					全農													
	上場				和子牛	和子牛	成牛							乳子牛					乳子牛													
10	日曜日	1火	2水	3木	4金	5土	6日	7月	8火	9水	10木	11金	12土	13日	14月	15火	16水	17木	18金	19土	20日	21月	22火	23水	24木	25金	26土	27日	28月	29火	30水	31木
	団体名									全農	全農	酪協							全農													
	上場									和子牛	和子牛	成牛	乳子牛						乳子牛													
11	日曜日	1金	2土	3日	4月	5火	6水	7木	8金	9土	10日	11月	12火	13水	14木	15金	16土	17日	18月	19火	20水	21木	22金	23土	24日	25月	26火	27水	28木	29金	30土	
	団体名											酪協	全農	全農	全農							全農										
	上場											乳子牛	和子牛	和子牛	成牛							乳子牛										
12	日曜日	1日	2月	3火	4水	5木	6金	7土	8日	9月	10火	11水	12木	13金	14土	15日	16月	17火	18水	19木	20金	21土	22日	23月	24火	25水	26木	27金	28土	29日	30月	31火
	団体名				全農	全農	全農							酪協					全農													
	上場				和子牛	和子牛	成牛							乳子牛					乳子牛													
平成32年 1	日曜日	1水	2木	3金	4土	5日	6月	7火	8水	9木	10金	11土	12日	13月	14火	15水	16木	17金	18土	19日	20月	21火	22水	23木	24金	25土	26日	27月	28火	29水	30木	31金
	団体名														酪協	全農	全農	全農				全農										
	上場														乳子牛	和子牛	和子牛	成牛				乳子牛										
2	日曜日	1土	2日	3月	4火	5水	6木	7金	8土	9日	10月	11火	12水	13木	14金	15土	16日	17月	18火	19水	20木	21金	22土	23日	24月	25火	26水	27木	28金	29土		
	団体名					全農	全農	全農							酪協							全農										
	上場					和子牛	和子牛	成牛							乳子牛							乳子牛										
3	日曜日	1日	2月	3火	4水	5木	6金	7土	8日	9月	10火	11水	12木	13金	14土	15日	16月	17火	18水	19木	20金	21土	22日	23月	24火	25水	26木	27金	28土	29日	30月	31火
	団体名				全農	全農	全農							酪協					全農													
	上場				和子牛	和子牛	成牛							乳子牛					乳子牛													

※[全農福島]: J A全農福島 開催日 [酪協]: 福島県酪農協 開催日

家 畜 市 場 名	市場開設団体	電話番号[FAX]	取引家畜
福島県家畜市場(本宮市) 0243-39-2636 [FAX] 39-2690 (市場は開設日のみ)	J A全農福島(家畜市場課)	{TEL}024-983-0570 {FAX}024-956-0420	和牛子牛・成牛・乳子牛
	福島県酪農協同組合(購買畜産課)	{TEL}0243-33-6981 {FAX}0243-33-6983	毎 月: 肉用乳子牛 6・9・12・3月: 搾乳用牝牛も併設
	(管理団体) 公益社団法人福島県畜産振興協会(業務課)	{TEL}024-573-0513 {FAX}024-573-0565	

※ 御購買・輸送等は開設又は上場組合にご相談ください。

全国農業協同組合連合会 福島県本部 福島県酪農業協同組合 公益社団法人 福島県畜産振興協会

家 畜 取 引 状 況 報 告

平成30年 11～12月 和牛子牛市場成績 (県家畜市場)

JA全農福島県本部

(税込み)

開催月	性別	頭 数 (頭)	取引価格 (円)			平均体重 (kg)	平均単価 (円/kg)	平均日齢 (日)	販 売 先	
			最 高	最 低	平 均				県 内	県 外
11	雌	337	1,856,520	356,400	738,791	283	2,608	284	143	194
	雄									
	去勢	431	1,210,680	219,240	847,642	305	2,782	277	198	233
	計	768	1,856,520	219,240	799,878	295	2,709	280	341	427
12	雌	380	1,419,120	444,960	757,921	286	2,687	282	178	202
	雄									
	去勢	527	1,347,840	165,240	882,856	309	2,858	280	234	293
	計	907	1,419,120	165,240	830,513	298	2,790	282	412	495

平成30年 11～12月 乳子牛市場成績 (県家畜市場)

福島県酪農業協同組合

(税込み)

開催月	種別	頭数 (頭)	取引価格 (円)		
			最 高	最 低	平 均
11月 第277回	ホ ル 雄	61	205,200	1,080	163,788
	ホ ル 去 勢	1	46,440	46,440	46,440
	ホ ル フ リー	1	1,080	1,080	1,080
	F ₁ 雌	64	281,880	44,280	242,933
	F ₁ 雄	66	425,520	176,040	332,395
	和 牛 雌	2	493,560	487,080	490,320
	和 牛 雄	19	748,440	380,160	593,716
	和 牛 去 勢				
12月 第278回	計・平均	214	748,440	1,080	279,372
	ホ ル 雄	76	206,280	1,080	139,917
	ホ ル フ リー	3	59,400	16,200	42,120
	F ₁ 雌	57	300,240	108,000	255,069
	F ₁ 雄	65	411,480	110,160	341,579
	和 牛 雌	4	535,680	387,720	453,060
	和 牛 雄	23	685,800	400,680	620,061
	和 牛 去 勢				
	計・平均	228	685,800	1,080	278,839

平成30年 11～12月 乳子牛市場成績 (県家畜市場)

JA全農福島県本部

(税込み)

開催月	資格	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均単価 (円/kg)	平均体重 (kg)
			最 高	最 低	平 均		
11	乳 登						
	妊 娠 牛	2	881,280	756,000	818,640		
	E T 和 雌	1	515,160	515,160	515,160	4,683	110
	E T 和 雄	3	651,240	560,520	599,760	5,519	109
	乳 雌 牛						
	乳 雄 牛	31	216,000	14,040	158,690	2,103	75
	乳 去 勢 子						
	F ₁ 雌 (育成)						
	F ₁ 去 (育成)						
	F ₁ 雌 (スモール)	55	291,600	1,080	240,526	3,347	72
	F ₁ 雄 (スモール)	47	410,400	223,560	322,621	4,284	75
	計・平均	139	881,280	1,080	268,081	3,630	74
12	乳 登						
	妊 娠 牛	3	764,640	378,000	530,280		
	E T 和 雌	2	476,280	321,840	399,060	3,991	100
	E T 和 雄	3	695,520	385,560	584,640	6,175	95
	乳 雌 牛						
	乳 雄 牛	19	171,720	35,640	102,032	1,323	77
	乳 去 勢 子						
	F ₁ 雌 (育成)						
	F ₁ 去 (育成)	8	468,720	427,680	444,420	1,362	326
	F ₁ 雌 (スモール)	49	298,080	114,480	245,711	3,551	69
	F ₁ 雄 (スモール)	60	407,160	75,600	318,924	4,122	77
	計・平均	144	764,640	35,640	283,418	3,241	87

牛も安心 地球も安心

福島県推奨のたね



県奨励品種優良牧草・飼料作物種子

福島県畜産振興協会

〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地

Tel 024-573-0515

Fax 024-573-0565

地方競馬 場外発売日程

(2月)

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
曜	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
ニュートラック 福島	金結川崎	佐賀			大井					佐賀		浦和				佐賀			笠松船橋					佐賀		名古屋川崎		
オーブス磐梯	川崎				大井							浦和							船橋							川崎		

(3月)

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
曜	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日			
ニュートラック 福島	金 川崎	土 佐賀								日 佐賀	月 金古	火 船	水 橋				日 佐賀	月	火		水 大井	木	金	土 水沢	日				月 浦和	火	水	木	金	土 水沢
オーブス磐梯	土 川崎																																	

※ 発売日程は、変更になることがあります。

地方競馬の収益金は、畜産の振興や馬に関する伝統行事の保存、街づくり、学校・病院の整備などに役立っています。



地方競馬全国協会